

『2学期を終えて』 ◆◆新たな環境で教育活動◆◆

校長 渡部 真也

平成二十九年もまもなく終わりを迎えます。昨年からの校舎改修工事でも子どもたちには不自由な思いをさせましたが、十一月末で工事も全て終わり、新しい図書館のオープンでは子どもたちが目を輝かせている様子を見て嬉しく思いました。

たくさんの行事があつた二学期でしたが、保護者・地域・関係諸機関の皆様にはご多用の中、学校におでかけいただき、子どもたちの活動の様子を見ていただくとともに、声かけや感想等多数お寄せいただきました。子どもたちはもちろん教職員にとつても励みとなりました。ありがとうございました。

今年度も残すところ三学期だけとなりました。まとめと次へのスタート準備の学期となるよう教職員一同力を合わせて子どもたちの支援をしていきたいと考えています。

最後になりましたが、本年も本校教育活動へのご理解とご協力ありがとうございました。来年もよろしく願いいたします。

良いお年をお迎えください。



知夫小中学校
Tel 08514-8-2015
Fax " 8-2312
〒684-0100
知夫村 1053-1
[HP] <https://www.chibumura.ed.jp/>

家庭生活チャレンジシート

今年度第二回目の『家庭生活チャレンジシート』を十一月六日～十日に実施しました。今回は、時間を上手に使うことを目標にし、メディア時間・学習時間・起床時刻・就寝時刻の四項目に絞りました。事前に現在の家庭での生活を見直し、各項目の目標時間・時刻を設定してから取り組みました。結果は、表の通りです。

小学部では、主にメディア時間、学習時間の目標達成率が高かったです。普段、メディアに使っている時間を学習時間に活用することができたのではないのでしょうか。中学部もメディア時間の目標達成率は高かったですが、学習時間は低い結果となりました。

今回の結果から、自分に合った目標設定があまりできていない様子がうかがえました。三学期も実施しますので、ご家庭でも振り返っていただき、継続して取り組めるような目標設定、お声かけをお願いいたします。

ご協力ありがとうございました。
(平山 佳会)

	小1・2	小3・4	小5・6	中1	中2	中3
(1) 対イ	86%	80%	96%	75%	83%	96%
(2) 学 習	89%	76%	80%	45%	60%	60%
(3) 起 床	74%	72%	62%	85%	51%	73%
(4) 就 寝	77%	52%	91%	65%	69%	78%

※数値は、目標を達成できた割合です。
※80%以上を青、60%以下を黄で表しています。

【学校教育目標】

未来を切り拓く
心豊かでたくましい
知夫の子どもを
育成する

【めざす子ども像】

- ・自ら学ぶ子ども
- ・共に生きる子ども
- ・たくましく
生きる子ども
- ・ふるさとを
愛する子ども

知夫里学習発表会 ～ふるさとに思いをこめて

十一月二十四日(金)は、知夫里(ふるさと)学習発表会でした。一・二年生は給食センターの方や野菜生産者さんとの関わりを調べ、寸劇やクイズ形式にして発表しました。三・四年生は、地域のめぐみを使って、自分達が実際に活動したことを発表しました。五・六年生は自分達で積極的に地域の方と関わり、そこで学んだことや感じたことを発表しました。どの学年も緊張したと思いますが、元氣よく発表することができました。二学期の成長を見ることができ、嬉しい思いでいっぱいでした。

保護者の皆様、地域の皆様、たくさんのご参観ありがとうございました。また、たくさんの感想をいただき感謝しています。今後もご支援、ご協力をよろしくお願いします。
(清水 亨輔)



きょうは、ふるさとがくしゅうはつぴようかいが二かいホールでありました。たくさんの方が見に来てくれました。ちよつと、はづかしかったけど、がんばってはつぴようできました。二ねんせいになつても、ちゃんとおぼえて大きなこえではつぴようしたいです。

小学部一年 男子

きょう、五・六時間目の時に、ふるさと学習はつぴよう会がありました。きんちようしたけど、がんばってはつぴようしたり、ほかの人ののはつぴようをきいたりすることができたので、よかつたです。三・四年生や五・六年生がイカをつかつたりよりとか、ミツロウクリームとかを作つていたので、すごいなと思いました。

小学部二年 男子

ぼくは、「つり」について発表しました。大きな魚をつるためには、どんなはりやワームがよいかインタビューしたことをまとめました。これをいかして、いつか自分ではりを作つてみたいと思つています。発表では、すぐきんちようして、まちがえたとこもあつたけど、がんばりました。

小学部四年 男子

ぼくのテーマは「知夫のヨコワ漁師を増やそう」でした。前からたくさん準備してきたことだったので、がんばつて成功させようと思ひました。色々な人の発表が終わつて、ぼくの番になりました。最初からとてもきんちようしました。でも、堂々と大きな声で発表することができたと思ひます。今までのことを思い出して、わかりやすく発表しました。発表が終わつたときは、実感がありませんでした。それくらい緊張してました。

ぼくは、来年も同じテーマで、今年よりも具体的に考へて、実現できるようにしたいです。

小学部五年 男子



地域の伝統行事「蛇巻き」

十一月二十八日、各地区で「蛇巻き」が行われました。この伝統行事の由来には諸説があり、五穀豊穡や健康への祈願や感謝に始まったと伝えられています。そんな思いを込めながら、子どもたちは、わらを束ねてジャーを作ったり、賭いの準備を手伝ったりしていました。地域の方々には、子どもたちに温かくご指導してくださり、ありがとうございました。

(藤田 宏)

中学部二年 女子

私は、お堂で料理準備をしていました。笑里さんたちとおにぎりを握ったり、たくあんを切ったりしました。ご飯がとてもおいしかったです。蛇を作る工程も初めて見ることできて良かったです。

中学部三年 女子

私は、初めて蛇巻きに参加しました。私が住んでいる大江では、たくさんのごちそうが出てきました。私は、ご飯を運んだり、おにぎりをつくったりしました。今回の蛇巻きは、最初で最後の伝統行事でした。それぞれの地区で力を合わせてご飯や蛇を作っていて、知夫の人は本当に仲が良く、伝統行事を大切にしています。



「全員主役」く輝け自分、輝け知夫小中く

後期生徒会・児童会

「全員主役」のスローガンのもと始まった後期生徒会。リーダーそれぞれのやる気が見られ、とても頼もしく感じます。生徒総会に先立ち、宿泊リーダー研修を行いました。知夫小中学校をよくするためにどうすればいいのか「自分たちにできることはなにか」真剣に考える姿が見られました。これからの活躍に期待してください。

(高橋 英也)

生徒会長

私は、知夫小中学校を元気で明るく、みんなが過ごしやすい学校にするために生徒会長になりました。これからは、たくさんイベントがあるので、そこでのいろいろなことに挑戦して、少しずつでも知夫小中学校を理想の学校像に近づけるようにしたいと思います。知夫小中学校スローガンは「全員主役」に決まりました。一人一人ががんばり、一人一人が輝けるよう、知夫小中みなで協力して生徒会活動に取り組んでいきたいです。



【後期生徒会役員】

○生徒会長	二年	上仲七海日
○副会長	二年	能海 瑠生
○議長	二年	谷 彩風
○文化福祉委員長	二年	中筋 友梨
○保健体育委員長	二年	番谷 日喜
【後期児童会役員】		
○ふるまい・さわやか委員長		
○図書委員長	五年	永谷 幸絹
○運動・健康委員長	五年	谷 健児朗
	五年	並河 敢大

図書館オープン

十一月二十九日(水)に学校図書館がオープンしました。オープン前に「いつから図書館は使えるんですか?」と聞く子どもが多く(こつそり入ろうとする子も何人か)、みんなきれいで広い図書館をとてもしみにしていたようです。

子どもたちは、ゆっくり本を選んだり、たみのスペースで寝転んで本を読んだり、静かにひとりで勉強したり、それぞれが好きな時間に好きな過ごし方をしています。子どもたちが楽しく本に親しめる図書館にしていけたらと思います。

(南家 知子)



表彰く各種コンクール

☆隠岐地区人権作文コンテスト

【優秀賞】

中学部 一年 原 万依佳

☆隠岐小・中図画作品展

【県特選】

中学部 三年 高田 光

【隠岐特選】

小学部 一年 経種 ゆいか

【隠岐入選】

小学部 二年 上仲七海日

小学部 一年 南家 涼子
小学部 二年 萬 萌衣
小学部 三年 三浦 楓

☆中・四国技家作品展

【優秀賞】
中学部 三年 佐々木 葵

1月の行事予定

- 9日(火) 始業式
- 10日(水) 民生委員挨拶運動
- 12日(金) (中) 1・2年 習熟度テスト
- 18日(木) ~21日(日) (小) 5・6年 「邑南町で泊まろう」
- 19日(金) (中) 3年 習熟度テスト
- 22日(月) (小) 5・6年 振替休業日
- 25日(木) 心の参観日



親子給食 & ピッカピカ大作戦

十一月三十日(木) PTA主催の「親子給食」と「親子でピッカピカ大作戦」を行い、たくさん保護者の方が参加されました。親子給食は、年に一度の給食試食会ですが、知夫の食材をふんだんに使った給食を、親子でおいしくいただきました。

親子でピッカピカ大作戦は、今年で四回目になりました。今回は学校の階段や体育館一階・階段を親子でピッカピカに磨いていただき、とてもきれいになりました。児童生徒数の減少で普段掃除ができないところもあるので大変助かっています。本当にありがとうございます。

(平田 昭)